



2020年4月2日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

Audi A6 および A7 Sportback に、2ℓ TDI エンジンを追加

- 最新の2ℓ 直4ターボディーゼルは、高い環境性能と高出力（204ps/400Nm）を両立
- 60Nmのアシストが可能な12Vマイルドハイブリッドシステムを装備

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：フィリップ ノアック）は、Audi A6 と Audi A7 Sportback に2ℓ TDI エンジンを搭載するグレード「40 TDI quattro」を追加発表し、本日より全国のアウディ正規販売店（126 店舗、現時点）を通じて販売いたします。

3ℓ V6直噴ターボを搭載するグレードから日本導入を開始したAudi A6 と A7 Sportback に、先般発表しました2ℓ TFSI グレードに続き、新開発2ℓ TDI エンジンを搭載するAudi A6 40 TDI quattro、A7 Sportback 40 TDI quattro が加わります。最新の排ガス基準に適合したTDI エンジン（EA288 evo 型）は、最大出力204ps(150kW)/3750~4200rpm、最大トルク400Nm/1750~3500rpmを発生し、12Vマイルドハイブリッドシステムと協働することで、余裕ある加速感や快適性、そして環境性能を両立します。

12Vマイルドハイブリッドシステムは従来の電装系用バッテリーに加えて、リチウムイオンバッテリーも搭載します。この2つ目のバッテリーの助けによって、55~160km/hの範囲でエンジンをオフにしたコースティング走行、また22km/h以下でのアイドリングストップを実現するほか、5秒間のエンジンアシスト（最大2kW、60Nm）を行います。通常のスターターモーターより大型のBAS（ベルトオルタネーター スターター）のため、エンジン停止・再始動は非常にスムーズというメリットもあります。緻密な回生と効率アシストは、欧州計測値で3%の省燃費効果をもたらします。

アルミ製シリンダーブロック、アルミ製ピストンなどで軽量化したTDIエンジンは、それ自体も優れた性能を持ちます。2200barの燃料噴射圧を背景に、従来のピエゾ式と同等のレスポンスを持つ、新開発の8穴ソレノイドインジェクターが正確な噴射コントロールを実現。状況に応じて1行程あたり合計5~8回の噴射（パイロット/メイン/ポスト噴射）を行うことで、高い環境性能や低振動、静粛性などを獲得しています。排ガス処理は、常に燃焼温度を最適に保つ高圧・低圧の2チャンネルEGRのほか、アンモニア酸化触媒、パティキュレートフィルター、尿素噴射SCRから構成されており、あらゆる温度条件で効率的なエミッションコントロールを行なうべく連携作動します。

Audi A6/A7 Sportback 40 TDI quattroのドライブトレインは、最新のTDIエンジンに12Vマイルドハイブリッドシステムを装備し、さらに7速Sトロニック、AWDクラッチを使用する高効率なquattroシステムと組み合わせることで、環境性能と運動性能において、唯一無二のバランスを実現しています。

モデル	エンジン	トランスミッション	駆動方式	ステアリング	車輦本体価格(税込)
Audi A6 40 TDI quattro	2ℓ 直4ターボディーゼル 204ps/400Nm	7速 Sトロニック	quattro	右	¥7,450,000
Audi A6 40 TDI quattro sport	2ℓ 直4ターボディーゼル 204ps/400Nm	7速 Sトロニック	quattro	右	¥7,920,000
Audi A6 Avant 40 TDI quattro	2ℓ 直4ターボディーゼル 204ps/400Nm	7速 Sトロニック	quattro	右	¥7,810,000
Audi A6 Avant 40 TDI quattro sport	2ℓ 直4ターボディーゼル 204ps/400Nm	7速 Sトロニック	quattro	右	¥8,280,000
Audi A7 Sportback 40 TDI quattro	2ℓ 直4ターボディーゼル 204ps/400Nm	7速 Sトロニック	quattro	右	¥8,120,000